



酒井はやみ 議員
(日本共産党
幕別町議員団)

問

2019年6月、親による体罰の禁止が法律上明記され、あらゆる暴力は「しつけ」にあたらぬこと、子どもの権利を侵害し発達をゆがめるとの認識が広がっている。

一方で児童虐待の件数は増え続けている。町内でも2015年度以降、13件、9件、19件、7件と減少しているとは言えず、コロナ禍において虐待リスクはさらに高まっていると考えられる。

虐待を含む暴力は、子どもに計り知れない傷を負わせ、人生を狂わせかねない。子育て支援や教育を直接担う市町村の役割が一層強調されてきている。虐待ゼロの町を目指して次の点を伺う。

- (1) 全妊婦訪問、乳児全戸訪問事業、乳幼児健診において、直接会えていない件数とその後の対応は。
- (2) 養育支援訪問事業の内容とコロナ禍での実態把握は。
- (3) 「虐待とは何か」の正しい理解を広げる取組は。
- (4) 子ども自身が暴力を跳ね返す力

問 児童虐待、子どもへの暴力のない町づくりを
答 未来をつくる子供の幸せな町の実現を図るため各種施策に取り組んでいる

をつけるため「こどもの権利」の学習や性教育に取り組む考えは。
(5) 子どもの貧困対策の取組状況は。

町長(1) 訪問

事業の年度別状況は下表のとおり。

| | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | |
|------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|
| | 訪問率 | 未訪問件数 | 訪問率 | 未訪問件数 | 訪問率 | 未訪問件数 |
| 妊婦訪問 | 76.4% | 37件 | 85.5% | 23件 | 74.6% | 34件 |
| 乳児訪問 | 100% | 0件 | 98.2% | 3件 | 100% | 0件 |
| | 受診率 | 未受診件数 | 受診率 | 未受診件数 | 受診率 | 未受診件数 |
| | 乳幼児健診 | 98.8% | 8件 | 99.4% | 4件 | 96.9% |

会えていない妊婦、母親、子供への対応は、保健師が行う電話や時期を変更しての家庭訪問、健康相談の場などを活用して必ず状況を把握し、必要な保健指導を全件実施している。

(2) 妊娠、出産、育児期の家庭において、若年妊婦や精神疾患を持つ保護者など、特に支援が必要と判断された世帯を対象に保健師が行う支援プランに基づく訪問支援を行っている。保育所、幼稚園および

び学校と情報共有や連携を図り、日常の見守りや保護者への声掛けなど多方面からの支援を行っている。特に要保護児童対策地域協議会のケース検討を行った世帯には頻回に家庭訪問をしている。

また、コロナ禍での要保護児童の実態把握は、日常的に関わる学校や保育所等への連絡により状況を確認し、必要に応じて家庭訪問を行っている。

(3) 帯広児童相談所主催の「児童虐待防止シンポジウム」が本年11月に幕別町百年記念ホールで開催され、多くの自治体関係者、幼稚園および学校教諭、保育士、民生委員・児童委員、医療関係者、児童福祉司のほか、地域住民の方も参加されていた。児童虐待に対する意識の向上を図る上で大変貴重な機会となった。また、9月に開催したファミリー・サポート・センター事業の「まかせて会員」の養成講習では、帯広児童相談所の協力をお願いいただき、児童虐待に関する講義を組み入れたほか、昨年9月

の民生委員児童委員協議会の中でも帯広児童相談所による児童虐待に関する研修会を実施し、児童虐待の早期発見や相談対応等について見識を深めた。さらには、11月の児童虐待防止推進月間には、町広報紙やホームページのほか、本年度新たに町内の各小中学校を通じて全保護者に啓発チラシを配布し周知に努めた。

(4) 子供の権利に関する理解を深めるため、各学校のPTA総会など様々な機会を捉えて啓発活動を実施したい。「性教育」については、小中学校において、生命誕生や心身の発育発達における男女差・個人差を正しく理解すること、誘拐や性被害などに対し、自分の心とからだを守る方法を身に付けることなどを指導の目標として授業を行っている。

(5) 令和元年10月に実施した「幕別町子どもの生活実態調査」の結果を踏まえ、本年3月に「子どもの貧困対策計画」を盛り込んだ「第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画」を策定し、「子どもの貧困対策の推進」として支援策を進めている。本年度の各支援策の実施状況について点検・評価を実施しており、貧困の解消に向け着実に取り組むたい。